

教育委員会

だより

拳ノ川小学校

子どもたちに確かな
学力と生きる力を

校長 文野 友喜

【はつめい】

黒潮町教育委員会より、昨年度から2年間の「学校運営協議会」の指定を受け、学校運営をより地域に開き、地域や保護者の皆さんとともに、学校教育目標である【「確かな学力」と「生きる力」を身につけ、生き生きと躍動する拳の子どもの育成】を目指し取り組みを進めています。

【校内研究の取り組みについて】

校内研究では、研究主題を「生き生きと取り組む」とし、全教員が授業公開を行っています。また積極的に外部講師を招聘し、教材研究並びに授業研究を行い、「聞くことを大切にしながら表現し合う授業づくり」を目指した取り組みを行っています。

◆授業スタンダードづくりと
複式授業の研究

本年度も、日々の授業内容の充実と学力の定着を図る取り組みとして「反復と習熟」「予習」をキーワードに「拳ノ川小学校授業スタンダードづくり」を目指して日々の授業の改善に力を入れています。実際には、授業の初めに児童の側に立った「めあて」を書き、そのめあてに沿って授業内容を工夫し、授業の最後にはその日の学習内容が分かる「まとめ」を書くことを意識して日々の授業を組み立てています。また、来年度からの完全複式学級に備え、今年度は複式授業における指導方法等の研究も深めていくようにしています。何よりも日々の授業を大切にし、積み上げていくことが学力の定着を図ることにつながると考えて取り組んでいます。

【基礎学力タイムの
取り組みについて】

基礎基本の確実な定着をめざし、基礎学力タイム（読書・計算・漢字）各10分間を校時表に位置づけて「継続は力なり」を合い言葉に取り組みを進めています。

◆計算タイム

基礎計算（四則計算）の習熟をねらいに、百マス計算や各学年の課題プリントなどを利用し、意欲化への評価や声かけの工夫をしながら継続的な取り組みを行っています。

◆漢字タイム

1日2〜3字の進度で各学年の新出漢字の学習をし、2学期後半から3学期にかけて、反復練習による習熟を図り、年度末に全新出漢字の定着率を検証しています。

◆読書タイム

読書は、全ての学力の基礎となるものです。本校では「毎日、集中して自分の好きな本を読む」ことをねらいに毎朝10分間の朝読書に取り組んでいます。また、家庭での20分

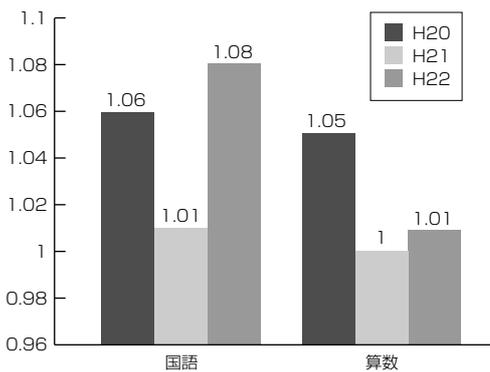


縦割り班長による読み聞かせ

間読書をPTAの取り組みとして2年前から行っています。更に、昨年度からは読書環境づくりの一環として、教員による読み聞かせや縦割り班毎に班長が中心になって行う読み聞かせにも取り組んでいます。その成果は、児童の図書利用度や読書量の増加にも見られています。

【学力検査の活用について】

左のグラフは、ここ3年間の学力標準検査の全校通過率（前年度全国平均正答率を1とみた時の本校の得点率）の結果です。今年度については、国語は全国平均を上回り、これまでの最高の全校通過率となっています。また、算数では全国平均をやや上回っています。



今後は、各学年ごとの課題を明確にし、課題解決を図るとともに基本的な生活習慣の確立なども含め、日々の取り組みの充実を図りながら改善に努めていきます。

【コミュニティ活動】

計画の段階から保護者や地域の方が参画し、拳ノ川小学校ならではの豊かな教育活動や体験活動の創造を目指し、

- ①自然・環境コミュニティ
- ②健康・福祉コミュニティ
- ③学び・文化コミュニティ

の3つのコミュニティ委員を組織し、地域の人材活用や教材化を図りながら年間を通して学校・地域・保護者が一体となって活動を行っています。



地域食材を使った味噌汁作り

三浦小学校

豊かさたくましさをもち

活力のある児童の育成

校長 田邊 誠郎

【はじめに】

本校は1年生8人、2年生11人、3年生5人、4年生12人、つくし学級1人、5年生7人、6年生9人の児童数53人、6学級編制の学校です。

【学校教育目標】

人権尊重を基盤に、自ら学び豊かさたくましさを持つ子どもを育てる。
 ※豊かな学力を持つ子ども
 ※豊かな人間性のある子ども
 ※たくましい心と体を持つ子ども

【校内研究(こころ)】

研究主題

●主体的な学習活動をめざして、よく聞き、よく考え、豊かに表現する力を育てる。

全国的に国語力に課題があることが報じられている。

本校でも学習の基礎である、聞く力・書く力・発表する力に取り組んできており児童朝礼での発表や学習発表会などでその成果も現れてきている。しかし、学力テストの結果から読む能力や書く能力に課題があることが判明してきている。

そこで、説明文を中心に国語力の向上に取り組むことが必要と考えられる。

算数科においては、数学的な考えや図形・数量関係などに課題も見られるが、基礎タ

イムやがんばりっ子「基礎学力定着の時間」での取り組みによりスキルの向上が見られる。

教科を中心しながら信頼しあえる生活集団や学びあう学習集団づくりも学級・学校経営の中で構築することが大切と考える。

具体的な取組

- 基礎学力の定着と学力の向上
- ①児童に分かる授業の工夫と改善を行っていく。
- ②支え励まし合える学習集団を育てる。
- ③家庭学習の充実と定着を図る。

家庭学習の手引きを活用

低学年30分以上

中学年45分以上

高学年60分以上

を目標に努力していく。

①国語力の育成

読み取る力の育成

聞く力の育成

書く力の育成

発表「表現」する力の育成

以上の4項目について具体的な指導を行っていく。

②学習の到達目標を設定して指導を行う。

算数・国語定着8・9割を

目標に徹底指導を行っていく。

③がんばりっこ基礎タイムの実施

朝読書を15分間実施し習慣

化していく。

5校時前10分間算数の基礎

スキルの実施で定着を図る。

④学力検査の分析と活用

こころの教育

- ①道徳教育の推進
- ②人権教育の推進
- ③読書の推進
- ④正しいことばづかいの推進
- ⑤生活集団づくりの推進
- ⑥特別支援教育の推進

基本的な生活習慣の育成

①すすんで返事・挨拶・お礼の推進

②心をこめて掃除や作業をおこなう。

③早ね・早起き・朝ごはんの推進

豊かな体験活動と交流学習の推進

①人・事・物・産業・文化などとの出会いやふれあい活動

②総合的な学習時間の活用

【学力(こころ)】

今年度の標準学力検査で算数はほぼ期待正答率(下段)に達成しているが、国語については課題が残っている。

	2年	3年	4年	5年
国語	88 81	77 75	61 71	67 68
算数	88 81	74 75	72 70	76 70

【開かれた学校づくり】

学校・家庭・地域社会がそれぞれの役割を果たしながら相互に連携し、地域ぐるみで子どもたちの教育に取り組むことを目的に、「三浦の子どもを育てる会」を設立し活動を行っています。

5月に総会を行い、3月にまとめの会を実施します。

12月に世代間交流(昔遊び・地域の食材を生かした料理など)を地域の方とともに進めます。

その他、月の1日は保護者が交通安全指導を行い、10日・20日は職員で行います。

地域の方々も協力してくれています。

この3日間は集団徒歩通学を行っており、全員がそろってから登校してきます。

また、児童会が中心になり月の5日と15日は2箇所でありさつ運動を行っています。

そして、学校に来ると職員室にあいさつをして学級へあがっています。

このようなさまざまな取り組みが地域を元気づけ、心豊かな児童に育っていく役割を担ってくれているのではないかと考えます。

このようなさまざまな取り組みが地域を元気づけ、心豊かな児童に育っていく役割を担ってくれているのではないかと考えます。